

## 1 単元名 病気の予防

## 2 単元について

本単元は、小学校学習指導要領 G 保健（3）病気の予防を受けて設定している。病気の発生要因や予防の方法について理解できるようにするとともに、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響や地域の様々な保健活動について理解できるようにすることを目的としている。

近年の日本の平均寿命は、男女ともに伸びてきているが、現代の社会を見ると、文明の進歩により生活の機械化と飽食の時代を迎え、生活習慣病が死因の上位を占めている。また、喫煙や飲酒の若年化もあり、子どものうちに生活習慣病や喫煙・飲酒の害、薬物乱用防止に対する正しい知識を身に付ける必要があると考える。

また、これまでの保健、家庭科、道徳の学習で、規則正しい生活の大切さについて学んできた。特に、第3学年体育科「保健」領域の「毎日の生活と健康」の単元において、健康な状態とは、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわって得られるものであること、健康を保持増進するためには、1日の生活の仕方が深くかかわっており、清潔を保ったり、生活環境を整えたりすることが必要であることについて学習してきている。しかし、現段階での生活習慣が大人になった時にも大きな影響を与えるということについてはあまり考えが及んでいない。将来にわたって健康であるためには、望ましい生活習慣の大切さを理解し、実践していくことが必要であると考え。

そこで、本単元では、病気とはどのようなものなのか、予防できるのか、なぜ健康でいる必要があるのか、喫煙、飲酒、薬物の害はどのようなものかについて考えさせる。その際、自分の生活を振り返り、現状を把握することで個々の課題が明らかになり、より必要性を感じるようになることと考える。さらに他教科とのかかわりを深め、話し合いの際には、ブレインストーミングやケーススタディー、ロールプレイングの手法を取り入れ、主体性をもって学習に臨めるようにする。また、視覚的に掲示できるような教材・教具を工夫することで、病気や喫煙による体への影響を理解させる。そして、自分の生活を改善することについて考えさせることで、将来の夢や目標に向けて、より健康でいたいと前向きに思えるような態度を育てていきたい。

## 3 児童の実態（男子19名 女子14名 計33名）

		質問内容	はい	いいえ
生活習慣に関する項目	1	食事は1日3回、毎日食べている。	84%	16%
	2	食事は、好ききらいなく食べている。	68.8%	31.2%
	3	塩分のとりすぎに気を付けている。	78.1%	21.9%
	4	油っぽいものをとりすぎないようにしている。	84%	16%
	5	あまいものをとりすぎないようにしている。	78.1%	21.9%
	6	早ね早起きをしている。	56.3%	43.7%
	7	ほとんど毎日、運動や外遊びをしている。	65.6%	34.4%
	8	食後に、歯みがきをしている。	81.3%	18.7%

	9	おやつをだらだらと食べないようにしている。	75%	25%
	10	ゲームやTVやインターネットを1日1時間以上使っている。	71.9%	28.1%
	11	頼りになる相談相手がいる。	71.9%	28.1%
	12	ストレスを感じることもある。	75%	25%
喫	13	家でたばこを吸う人がいる。	56.3%	43.7%
	14	今までにたばこをすすめられたことがある。	6.3%	93.7%
煙	15	たばこを吸ってみたいと思う。	9.5%	90.5%
	16	大人になったら、たばこを吸うと思う。	6.3%	93.7%
	17	たばこを吸っている人を（かっこいい・大人っぽい）と思う。	6.3%	93.7%
飲	18	家でお酒を飲む人がいる。	78.1%	21.9%
	19	お酒を飲んだことがある。	56.3%	43.7%
酒	20	お酒をすすめられたことがある。	28.1%	71.9%
	21	大人になったら、お酒を飲みたいと思う。	31.3%	70.7%
①	22	「かくせいざい」という言葉を知っている。	93.7%	6.3%
②	23	自分の体と心を大切に思っている。	84%	16%
	24	将来の夢がある。	93.7%	6.3%

※アンケート 19：「お酒を飲んだことがある。」は、一口でも飲んだことがある子ども。

※①覚せい剤に関する項目

②自分の体、将来に関する項目

### 【たばこについてのアンケート】

1 20歳未満の人がたばこを吸ってはいけないのはなぜですか。

・病気になりやすいから	40.6%	・死んでしまうから	21.9%
・体が強くないから	12.5%	・癌になるから	9.4%
・判断が悪くなるから	6.3%	・成長の妨げになる	6.3%
・依存症になってしまうから	6.3%		

2 たばこを吸うと体に影響（害）を及ぼすことを知っていますか。

知っている		知らない	
75%		25%	
・（肺）癌になってしまう	40.6%	・肺が悪くなる	34.4%
・寿命が縮む	9.4%	・依存症	6.3%
・周りへの影響がある	6.3%	・胎児に影響がある	3.1%

3 たばこをすすめられたら、断れると思いますか

はい	いいえ	わからない（自信がない）
59.4%	6.3%	34.3%

#### 4 たばこを吸い始めるきっかけは、何だと思いますか

・友達などからの誘い	53.1%	・好奇心・興味	34.4%
・ストレス	31.3%	・カッコいいと思うから	15.6%
・近くに吸っている人がいるから	9.4%	・落ち着くから	6.3%

本学級の子どもたちは、家庭環境にばらつきがあり、放課後の過ごし方も様々である。規則正しい生活で毎日を過ごす子どももいれば、塾通いのため夜遅くに晩ご飯を食べたり、ゲームやインターネットを長時間やっていたり、テレビを見ているために就寝時刻が遅くなったりと、生活習慣が乱れている子どもも多くいる。普段の学校生活においても、今を楽しむことを優先してしまい、先々のことを考えずに行動する子どもも少なくない。言い換えると、興味本位で周りの様子に流されやすい傾向にある。

実態調査から、自分の体を大切に将来の夢に向かって健康でいたいと願う子どもがほとんどである。しかし、良い生活習慣がしっかりと身に付いているという子どもは半数を下回っている。健康によくない生活習慣を続けていくことが、健康を害することにつながることを関係付けながら指導をしていきたい。また、喫煙や飲酒に関しては、子どもたちを取り巻く環境の影響もあり、身近なものとして接していることがわかった。子どもたちの中には、漠然と喫煙や飲酒はいけないということはわかっているものの、具体的に何が原因で、どのような影響があるのかなどはわかっていない。そこで、たばこに含まれる体に悪影響を及ぼす物質を具体的に取り上げる。また、実際にどのような害があり、どのようにして体に変化が表れるのかをわかりやすく示していきたい。「家でたばこを吸う人がいる。」の質問から、6割近くの家で喫煙者がいることがわかる。そのうちのおよそ8割の家では、ベランダや外出先などでの喫煙をしていることから、周りへの配慮（受動喫煙の考え）が多く見られる。しかし、たばこの周りへの影響について回答している子どもは6.3%しかいない。なぜ家の中でたばこを吸うことがない（少ない）のかを考えながら、受動喫煙の害についても丁寧に指導していく必要があると考える。

#### 4 単元の目標

- 病気の起こり方と予防の方法について関心をもち、進んで課題を見つけたり、意欲的に課題解決に取り組んだりできるようにする。 **【関心・意欲・態度】**
- 病気の起こり方と予防の方法について課題を設定し、解決の方法を考えたり判断したりすることができるようにする。 **【思考・判断】**
- 病気の起こり方と予防の方法について実践的に理解し、自分の生活に役立つ知識を身に付けることができるようにする。 **【知識・理解】**

#### 5 研究主題と学習の手立て

##### (1) 市教研体育部会の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

##### (2) 視点と研究の手立て

視点4 身近な生活から健康安全についての課題をみつけ、解決することができるよう、学習過程や単元構成を工夫する。

〈手立て〉

○他教科とのかかわり【将来の自分像を手がかりとして】

保健教育の指導は、体育科保健領域、家庭科や理科などの関連教科、特別活動、総合的な学習の時間など、他教科と関連して学習をする。それぞれの指導は各教科等の特質に応じて行われるが、保健教育は「心身ともに健康な国民の育成」を目指しており、保健教育が目標とする健康に関わる資質や能力の育成には、教科等が、相互に関連することによって、さらなる効果が期待できると考えられる。

また、子どもたちの実態をみると 56.3%の子が「たばこを吸う人が家にいる」と回答している。この数値は、一般的な子もち世帯の喫煙率である男性 41.6%、女性 21.2%という数値(オウチーノ総研 2014 年度調査による)と比べても高い数値であり、たばこが子どもたちにとって身近なものであるということがわかる。これまでの研究によって喫煙家庭において育った子どもの喫煙率が高いことも明らかとなっている。

このことから、将来のためにたばこの害について正しい知識を身に付けた上で、適切な判断ができるようにしなければならない。そこで、本単元では保健の授業だけに留まるのではなく、総合的な学習の時間や特別活動における学級活動の時間も活用し、より深く、実践的に喫煙や飲酒、薬物乱用や生活習慣病について学べるような学習過程を取り入れる。各教科の目標を下記のように設定することで、生涯にわたって健康や安全な生活を実践する意欲や態度、知識や技能、思考力や判断力、実践力等を一つの力として束ねていけるような子どもを育てられるだろうと考える。

さらに、実態調査からもわかるように、子どもたちは、それぞれ夢や目標があり、「こんな大人になりたい」という願いをもっている。しかし、子どもたちは、「今を楽しむこと」を優先してものごとを考える傾向が強く、周りの環境や状況に左右されてしまう面もある。そこで、単元のはじめに総合的な学習の時間で扱う「将来の自分像」や「将来の目標」を明確にし、常にそれを意識させることで学習した内容を身近な問題として捉え、健康な生活を送るための意欲や実践力、未来に希望をもてる豊かな心を育んでいきたい。

【各教科における目標の概要】

保健領域：子どもたちに喫煙や飲酒、薬物乱用や生活習慣病についての正しい知識を身に付ける。

総合的な学習の時間：キャリア教育を通して将来の自分像（目標）を明確にもてるようにする。

学級活動：子どもたちが心身ともに健康で安全な生活の態度の育成のため、実践的な力を身に付ける。

○ICT や具体物を活用した資料提示

喫煙や飲酒、薬物によって、体の中で起こる様子などについて動画や写真を見ることで、それらの害を視覚的に理解できるようにする。また、喫煙や飲酒、薬物が健康に及ぼす影響についての知識を、より確かなものにするため、板書に合わせて資料を提示していき、言葉やキーワードと対応させながら指導していきたい。

さらに、たばこの害については、学習の導入で植物を使った実験を提示する。水とたばこの成分を入れた液で植物を栽培し、その発育の様子を比べることで、たばこの中にある物質が成長に大きく影響していることを、実感できるようにしたい。

○友達同士での学び合い

病気やたばこなどの害については、これまでの学習経験が少ないため、個々の知識の幅に偏りがあるだろう。互いにもっている知識を共有していくことで、より確かな知識を形成することができるだろうと考える。また、ブレインストーミングやロールプレイングといった手法を取り入れ、交流していくことで、多様な考えや解決策を生み出していけるだろう。少人数グループで出された素直な意見を全体の場で共有していけるよう、個々の意見を大切にできる雰囲気を作っていきたい。

6 評価規準（おおむね満足できる状況）

	健康・安全への 関心・意欲・態度	健康・安全についての 思考・判断	健康・安全についての 知識・理解
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。</li> <li>・病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の予防について、教科書や調べたことをもとに、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</li> <li>・病気の予防について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の起こり方について理解したことを言ったり、書いたりしている。</li> <li>・病原体がもとになって起こる病気の予防について理解したことを言ったり、書いたりしている。</li> <li>・生活行動がかかわって起こる病気の予防について理解したことを言ったり、書いたりしている。</li> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について理解したことを言ったり、書いたりしている。</li> <li>・地域の様々な保健活動の取組について理解したことを言ったり、書いたりしている。</li> </ul>
学 習 活 動 に 即 した 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分や身近な人が経験した病気などをもとに課題を見付けようとしている。</li> <li>②病気の起こり方や予防の方法について、人に聞いたり、教科書などの資料を基にしたりして調べようとしている。</li> <li>③病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの活動に進んで取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①病気の起こり方や予防の方法について、自分の生活を振り返り、課題を見付けている。</li> <li>②病気の起こり方や予防の方法について学習したことを、自分の生活と比べたり、関係を見付けたり、それを説明したりしている。</li> <li>③病気の起こり方や予防の方法について、話し合ったことをもとに考えを深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がかかわり合っ て起こることを理解している。</li> <li>②病原体が要因となって起こる病 気の予防の仕方について理解し ている。</li> <li>③生活行動がかかわって起こる病 気の予防について理解してい る。</li> <li>④喫煙、飲酒、薬物乱用の健康へ の影響について理解している。</li> <li>⑤地域には様々な保健活動がある ことを理解している。</li> </ul>

7 指導計画（8時間扱い）

	時	学習活動と内容	指導や支援の手立て（◇は評価）
総合		<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の夢や目標を思い浮かべ、輝かしい未来の自分像を明確にする。</li> <li>○将来の夢や目標を書き、学級掲示物を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の夢が決まっていない場合は、中学校での目標など、近い将来を見据えて目標を立てることを伝える。</li> </ul>
病気の予防①	1	<p><b>病気とは</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○病気とはどのようなものなのか、予防できるのか、なぜ健康であることが必要なのかについて考える。</li> <li>○将来の夢や目標と体の健康のかかわりについて考える。</li> <li>○自分の生活について振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「病気の予防」について学習することを知らせ、なぜ学習するのか、実感をもって捉えられるように、将来と結び付けて考えるよう声をかける。</li> <li>○素直な振り返りができるよう、自分のアンケート結果を見ながら、今の状態を把握するよう伝える。</li> </ul> <p>◇（健康・安全への関・意・態①） （健康・安全についての思・判①）</p>
	2	<p><b>病気の起こり方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○風邪を例に、病気の起こり方について考える。</li> <li>○病気の原因は一つではないこと、予防するには抵抗力が必要であることを知る。</li> <li>○食事・運動・睡眠の観点から、抵抗力の高め方について考える。</li> <li>○知っている病気の名前をあげ、それぞれの病気の主な原因をもとに仲間分けをする。（ブレインストーミング）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちや家族が風邪にかかったときの状態から考えるよう助言する。</li> <li>○病気には、病原体、環境、生活の仕方、体の抵抗力がかかわっていることを捉えられるように板書する。</li> </ul> <p>◇（健康・安全についての思・判③） （健康・安全についての知・理①）</p>
	3	<p><b>病原体と病気</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○インフルエンザや食中毒を例に、感染症の起こり方について考える。</li> <li>○病原体がもとになって起こる病気の予防方法について考える。</li> <li>○病原体が原因で起こる病気の予防について、できることを話し合い、今の生活に生かせるか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症の起こり方について、資料や写真を提示して、視覚的にわかりやすいよう工夫する。</li> <li>○前時で学習した抵抗力に着目できるよう、掲示物を用意しておく。</li> </ul> <p>◇（健康・安全についての思・判②） （健康・安全についての知・理②）</p>
	4	<p><b>生活の仕方と病気</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病が関係する病気には、どのような</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グラフをもとに、子どもでも生活習慣病に</li> </ul>

		<p>ものがあるかについて知る。</p> <p>○生活習慣病とその原因となる生活行動について考える。(ケーススタディー)</p> <p>○虫歯や歯周病の起こり方について確認する。</p> <p>○虫歯を防ぐための生活の仕方について考える。</p> <p>○自分の生活を振り返り、改善できるところはないか考える。</p>	<p>なることを理解できるようにする。</p> <p>○病気の原因が生活習慣と密接にかかわっていることに気付けるような板書をする。</p> <p>○口腔衛生指導を思い出させながら、虫歯も生活習慣病の一つであることに気付かせる。</p> <p>◇ (健康・安全への関・意・態③) (健康・安全についての知・理③)</p>
病 気 の 予 防 ②	5	<p><b>飲酒の害</b></p> <p>○酒についてイメージや知っていることなどについて話し合う。(ブレインストーミング)</p> <p>○酒の害について調べ、飲酒の危険性について考える。</p> <p>○飲酒も生活習慣病の原因になることを知る。</p>	<p>○未成年者の飲酒は体に悪影響が大きいことを理解させるために、映像資料を用意する。</p> <p>○軽い気持ちでも、将来を台無しにしてしまうことを強調する。</p> <p>◇ (健康・安全への関・意・態②) (健康・安全についての知・理④)</p>
	6 本 時	<p><b>喫煙の害</b></p> <p>○たばこのイメージや知っていることなどについて話し合う。(ブレインストーミング)</p> <p>○たばこの害について考える。</p> <p>○たばこの害がわかっても吸う人がいる理由を考える。</p> <p>○学習して感じた気持ちを、将来の自分に伝える手紙を書く。</p>	<p>○禁煙場所や分煙場所、CMなども思い出せるよう、声をかける。</p> <p>○身近に喫煙者がいる子どももいるので、喫煙者の批判にならないよう留意する。</p> <p>○将来の夢や目標と体の健康とのかかわりを考えながら書くよう助言する。</p> <p>◇ (健康・安全についての思・判②) (健康・安全についての知・理④)</p>
	7	<p><b>薬物乱用の害</b></p> <p>○薬物のイメージや知っていることなどについて話し合う。</p> <p>○薬物の害について調べ、薬物乱用の危険性について考える。</p>	<p>○薬物乱用は、自分の心身を損なうだけでなく、社会へも大きな悪影響を及ぼすものであり、決して手を出してはいけないことを強調する。また、その影響について理解を深めるために映像資料を用意する。</p> <p>◇ (健康・安全についての思・判③) (健康・安全についての知・理④)</p>
	学 活	<p>○「病気の予防②」で学習してきた、飲酒や喫煙、薬物を断る体験をするためにロールプレイングを行う。</p> <p>○断り方について、友達と交流し合い、よりよい方法を模索する。</p>	<p>○単なる劇にならないよう、実際の状況を思い浮かべながら、真剣に行うことを伝える。</p> <p>○今までの学習を振り返りながら、自分の意志で判断できるよう声をかける。</p>

学 活	○ゲストティーチャーを招き、飲酒、喫煙、薬物乱用の害について実演を交えながら、話を伺う。	○疑問に思ったことや聞きたいことを積極的に質問するよう促す。
8	<b>地域の様々な保健活動</b> ○健康を守るための地域の施設や活動について考える。 ○自分や家の人が活用できそうな保健活動を考える。	○社会科や総合的な学習の時間に学習したことも思い出しながら、さまざまな施設がかかわっていることに気付けるよう声をかける。 ◇（健康・安全についての知・理⑤）

## 8 本時の指導

### (1) 目標

- たばこの害について、自分なりの考えをもち、話し合いや友達との交流に進んで取り組むことができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- 将来の自分と結び付け、自分の健康は自分で守ろうという気持ちをもつことができるようにする。 【思考・判断】
- たばこの害が、体に及ぼす影響について理解できるようにする。 【知識・理解】

### (2) 展開

学習活動と内容	教師の指導・支援（○）と評価（◇）
1 植物の発芽の様子を見て、たばこの害について考えるきっかけをもつ。	○変えた条件は、与えた水分だけということを確認し、たばこの害を印象付ける。
2 「たばこ」に対するイメージについて、個人で考え、その後グループでブレインストーミングを行う。 〈予想される子どものイメージ〉 ・肺に悪そう                      ・がん ・かっこいい                      ・20歳以上 ・依存症                              ・病気になる など	○禁煙場所や分煙場所、CMなどを思い出せるよう、声をかける。 ○体に及ぼす悪影響だけでなく、たばこの見た目や吸っている人の様子などでもよいことを伝え、たくさんの意見が出るよう答えに幅をもたせる。 ○ブレインストーミングの約束を振り返り、否定的にならないようにする。 ◇喫煙について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの活動に進んで取り組もうとしている。 <span style="float: right;">【関・意・態③】</span>
たばこの害は、わたしたちの体にどのようにえいきょうするのだろうか	
3 グループで出た意見を参考に、たばこのイメージを発表する。	
4 グループで出た意見をみんなで共有し、たばこの害を確認する。	○出たイメージを意図的に分類し、指導内容を明確にした板書にする。



《重点指導事項》

◎たばこによる急性的な影響について

- ・呼吸や心臓のはたらきに対する負担を理解できるように、血液の流れに影響を及ぼす写真や動画を用意する。

◎受動喫煙の害について（主流煙、副流煙）

- ・受動喫煙による、周囲の人々への影響について理解できるように、グラフなどを用意する。

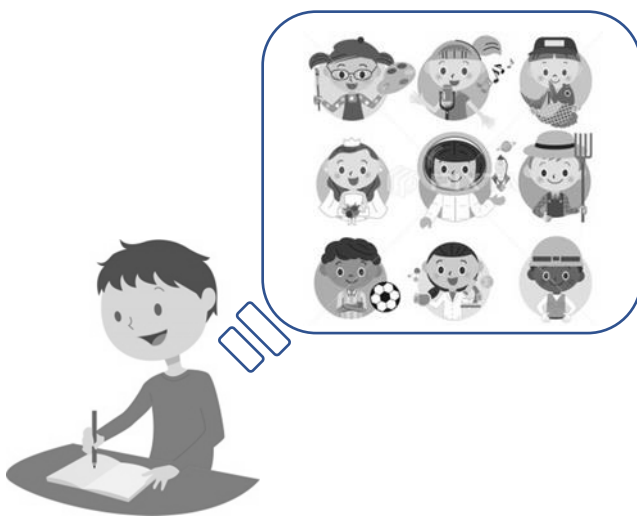
◎たばこによる慢性的な影響について

- ・喫煙を長い間続けること起こる害について理解できるように、肺や口内、しわの比較写真を用意する。

5 たばこの害がわかっても吸う人がいる理由を考える。

- ・やっぱり、気分がすっきりするからだと思う。
- ・かっこいい気がするから吸うのかな。
- ・近くの人にすすめられて、吸っちゃうのかな。

6 学習して感じた気持ちを、将来の自分に伝える手紙を書き、発表する。



○図や写真を使い、視覚的にわかりやすいように提示する。

○若い世代から喫煙することによる体への影響についても、資料を用いて触れるようにする。

○資料はなるべく大きく示せるように、テレビで提示できるようにしておく。板書用の資料は、全体のバランスを考え、大きさを考慮する。  
（板書計画は、別紙記載。）



○身近に喫煙者がいる子どももいるので、批判的にならないよう留意する。

○たばこを吸う以外の方法として、気持ちを落ち着かせたり、気分転換したりできる方法がないか、投げかける。

○たばこを勧められたときの断り方は、後日行うことを伝える。

○学んだ知識や感じた気持ちを文字に起こすことで、より印象強く心に残るようにする。

○将来の夢や目標と体の健康とのかかわりを考えながら書くよう助言する。

○発表したり、友達の考えを聞いたりすることで、たばこを吸わない強い意志をもつことができるようにする。

◇喫煙の害について学習したことを、自分の生活と比べたり、関係を見付けたり、それを説明したりしている。 【思・判②】

◇喫煙の健康への影響について理解している。

【知・理④】

7 学習を振り返り、喫煙による体への影響をまとめ。			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="132 264 316 398">まとめ</td> <td data-bbox="316 264 1460 398">たばこには、数多くの有害物質がふくまれており、きつえん者にも周りの人にも健康に害をあたえてしまう。</td> </tr> </table>	まとめ	たばこには、数多くの有害物質がふくまれており、きつえん者にも周りの人にも健康に害をあたえてしまう。	
まとめ	たばこには、数多くの有害物質がふくまれており、きつえん者にも周りの人にも健康に害をあたえてしまう。		

※参考文献等

- ・「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き 文部科学省
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料 小学校編 財団法人日本学校保健会
- ・今から始める喫煙防止教育 DVD 企画・監修・著作：社団法人日本循環器学会・禁煙推進委員会

# 病気の予防

～たばこの害～



6年1組 名前 \_\_\_\_\_

◎たばこに対してどのようなイメージをもっていますか。思いつく限り書いてみましょう。

〈学習前〉

〈話し合いによって〉

◎学習して感じた気持ちを大切に、将来の自分に伝える手紙を書こう。

タイトル